

■平成28年度 福岡市高速鉄道事業会計決算の概要

1. 概況

福岡市の高速鉄道事業は、昭和56年7月26日に空港線（1号線）室見～天神間で営業を開始して以来、順次部分開業を続け、平成5年3月3日の空港線博多～福岡空港間の開業により、空港線と箱崎線（2号線）の全区間が開業しました。また、西南部地域における基幹交通機関として七隈線（3号線）橋本～天神南間が平成17年2月3日に開業し、空港線、箱崎線と七隈線を合わせて29.8キロメートルで営業しています。

七隈線延伸事業については、陥没事故により皆様にご迷惑をおかけしましたが、安全を最優先に土木本体工事等を着実に推進するとともに、駅出入口の実施設計・工事や駅レイアウトの検討を進めています。

営業線改良事業については、地下鉄と空港の交通結節機能の強化を図る福岡空港駅改造事業をはじめ、安全・安心の向上のため、ATC（自動列車制御装置）等の列車制御装置やトンネル・高架橋等の土木構造物の改良に取り組んでいます。また、ユニバーサルデザインに配慮した地下鉄施設の整備推進を図るため、エレベーターの整備や車両座席の改良、駅トイレの改良等に取り組んでいます。

増客増収の取組みについては、新たなお客様ニーズ、少子高齢化などの社会情勢に適応する新企画乗車券の発売に加え、1日乗車券特典施設の充実及びICカード「はやかけん」電子マネー加盟店の拡充などによるお客様の利便性向上、民間タイアップによる利用促進キャンペーン、イベント等主催者と連携した臨時列車のきめ細かな運行など、乗客誘致活動を積極的に推進しています。また、広告の販売促進に取り組むとともに、西新駅への新規店舗の誘致や、コインロッカー及びATMを増設するなど駅空間の有効活用を図っています。

利用者数は、年間乗車人員160,389,913人（1日平均439,424人）で、平成27年度と比較して4,308,878人（2.8パーセント）増加しています。内訳は、定期の利用者が76,888,260人（1日平均210,653人）で、平成27年度と比較して3,739,710人（5.1パーセント）増加しており、定期外の利用者が83,501,653人（1日平均228,771人）で、平成27年度と比較して569,168人（0.7パーセント）増加しています。

このため平成28年度の乗車料収入（消費税抜き）は269億9,350万円で、平成27年度と比較して、8億8,833万円（3.4パーセント）の増となっています。

経営状況については、総収益361億852万円に対し、総費用は307億8,282万円で、差引53億2,570万円の純利益が生じました。

その結果、平成28年度末における累積欠損金は、1,315億8,154万円となっています。

今後とも経営の健全化を推進するとともに、安全で快適な輸送サービスの提供に努めます。

2. 収益の収支及び資本の収支

収益の収支	金額
収入	38,389 百万円
支出	32,925 百万円
差引	5,464 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	5,325 百万円

平成27年度末累積損益 △ 136,907百万円
 平成28年度損益 5,325百万円
 平成28年度末累積損益 △ 131,582百万円

資本の収支	金額
収入	26,677 百万円
支出	37,223 百万円
差引	△ 10,546 百万円

※ 損益勘定留保資金等で補てん

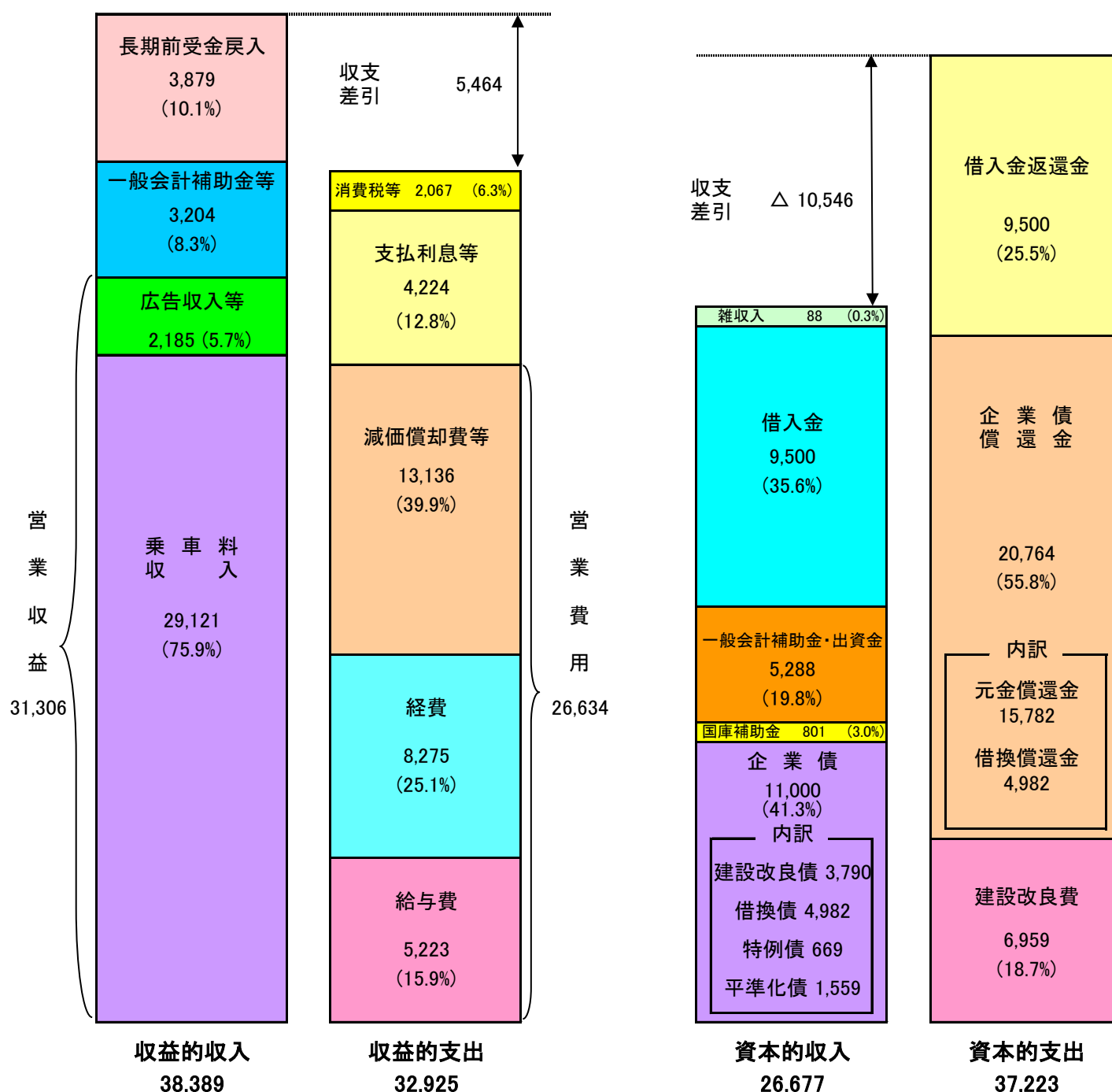
平成28年度末累積資金過不足額 △ 17,168 百万円

収益の収支

(単位:百万円)

資本の収支

(単位:百万円)



3. 業務量(年間又は年度末)

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線)	橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計		29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,676,573.2 キロメートル

(4) 年間輸送人員 160,389,913人

(5) 一日平均輸送人員 439,424人

○内訳

空港・箱崎線(a) [乗継ぎ分含む]	377,772 人
七隈線(b) [乗継ぎ分含む]	82,386 人
乗継ぎ分(c)	20,734 人
全線計(a)+(b)-(c)	439,424 人

4. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	3,088,425 千円
営業線改良事業	事業費	3,858,337 千円

5. 重要施策

区 分	事 業 概 要
<p>① 七隈線延伸事業</p> <p style="text-align: right;">3,088,425千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 事業期間 H24～H32 H24～H28 10,815,136千円 </div>	<p>中間駅(仮称)西工区および中間駅(仮称)東工区の土木本体工事等を着実に推進するとともに、駅出入口の実施設計・工事や駅レイアウトの検討を進めた。</p> <p>博多駅(仮称)工区については、博多駅前において発生した道路陥没事故の二次被害防止と早期復旧に努め、損害賠償等の対応を行った。陥没事故の原因究明や再発防止等について、「福岡市地下鉄七隈線延伸工事現場における道路陥没に関する検討委員会」において検討がなされた。</p> <p>(全体の事業概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇延伸区間 天神南～博多 ◇建設キロ 約1.4km(営業キロ約1.6km) ◇建設費 約450億円(※要検証) ◇利用人数 延伸区間で約8.2万人/日 (このうち新規利用者数…純増約2.3万人/日) ◇開業予定 平成32年度(※要検討) <p>(平成28年度の主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木本体工事 ・中間駅(仮称)出入口実施設計・工事 ・駅レイアウトの検討 等
<p>② 福岡空港駅改造事業</p> <p style="text-align: right;">351,373千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 事業期間 H25～H30 総事業費 1,348百万円 H25～H28 642,720千円 </div>	<p>福岡空港ターミナルビル移転に伴う新しいビルの計画にあわせて、福岡空港駅の1出入口移設や新改札口の整備など、駅レイアウトの変更を行い、地下鉄と空港の交通結節機能の強化を図る。</p> <p>(平成28年度の主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅レイアウト変更工事(第1期:トイレ改良工事他)
<p>③ 安全・安心の向上</p>	
<p>(ア) 自動列車制御装置(ATC)等改良工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 事業期間 H18～H34 総事業費 4,353百万円 H18～H28 3,271,406千円 </div> <p style="text-align: right;">182,238千円</p>	<p>経年劣化したATC等を年次計画により改良した。 (姪浜駅)</p>
<p>(イ) 列車集中制御装置(CTC)改良工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 事業期間 H27～H32 総事業費 824百万円 H27～H28 424,440千円 </div> <p style="text-align: right;">145,797千円</p>	<p>経年劣化したCTCを年次計画により改良した。 (中央制御所)</p>
<p>(ウ) 土木構造物改良工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 事業期間 H25～H34 総事業費 1,693百万円 H25～H28 792,252千円 </div> <p style="text-align: right;">207,304千円</p>	<p>土木構造物(トンネル・高架橋)の改良工事を実施し、安全性の向上を図った。</p>
<p>(エ) 安全・安心を支える人材の育成</p> <p style="text-align: right;">25,723千円</p>	<p>交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を計画的に育成していくため、研修の拡充に取り組むとともに、委託駅従事員のさらなる資質向上を図った。</p>

区 分	事 業 概 要
④ ユニバーサルデザインに配慮した整備推進	
(ア) 駅トイレ改良工事 事業期間 H18～H29 総事業費 992百万円 H18～H28 872,515千円 163,109千円	駅トイレの段差解消やオストメイト対応等の改良について年次計画で実施し、平成29年度までに、全駅トイレのバリアフリー化を完了する。 (箱崎宮前駅、東比恵駅、千代県庁口駅)
(イ) 西新駅エレベーター整備工事 事業期間 H26～H28 総事業費 233百万円 H26～H28 232,532千円 136,106千円	バリアフリー動線確保のため、7出入口(西新交番方面)付近にエレベーターを新設した。
(ウ) 2000系車両座席部改良工事 事業期間 H27～H28 総事業費 172百万円 H27～H28 171,679千円 84,677千円	2000系車両の座席について、ユニバーサルデザインの観点から縦手すりを設置するとともに、定員着座推進のための座席改良を行った。
⑤ お客様サービスの向上	
(ア) 券売機更新工事 事業期間 H28～H29 総事業費 361百万円 66,902千円	旧型券売機の更新時期に合わせ、ICカード対応機を拡充するとともに、お客様ニーズに対応した券売機の機能充実を行う。
(イ) 駅案内サイン等の改良 事業期間 H26～H31 総事業費 373百万円 H26～H28 34,372千円 20,926千円	空港・箱崎線の駅案内サイン等について、ピクトグラムを積極的に採用するなど、よりわかりやすいものに改良する。
(ウ) 企画乗車券の見直し 219,866千円	「ファミちかきっぷ」「ちかパス65」の新設など、新たなお客様ニーズや社会情勢に対応するため、企画乗車券の見直しを行った。
(エ) 乗車マナーの向上 10,317千円	エスカレーターの安全利用を呼びかけるなど、乗車マナー向上に関する取組の強化を図った。
(オ) 地下鉄駅の魅力づくり 718千円	お客様により親しまれる魅力的な駅とするため、駅の個性化・活性化を図る取組を行った。
⑥ 駅施設の省エネルギー化	
駅照明等のLED化改良工事 事業期間 H23～H37 総事業費 1,244百万円 H23～H28 522,780千円 59,423千円	ホーム、コンコース等の照明や誘導灯のLED化を推進した。 (駅照明…姪浜駅、赤坂駅) (誘導灯…東比恵駅)
⑦ 経営健全化の推進	
経営評価の実施 4,968千円	経営戦略の策定に向けて、外部の知見を活用した経営評価を実施した。